

身延山大学

行学寮

ここに集ふて一乘の

御法を学ぶ輩は

皆これ本化の聖教を

背負ふてたつべき柱石ぞ

祖山学院校歌 抜粋



【研修】

| 番号 | 項目 | 内容 |
|----|------|----------------------|
| 1 | 唱題行 | 毎月1回、宗祖報恩唱題行の実践 |
| 2 | 法要研修 | 毎日の勤行において所作や仏具の扱いを指導 |
| 3 | 読経研修 | 要品を一々文々で指導 |
| 4 | 聲明研修 | 毎年1回7日間の研修、聲明七曲の修得 |
| 5 | 法話研修 | 夕勤時に15分程度の法話の実践 |
| 6 | 書道研修 | 毎月2回、臨書や塔婆の書き方の指導 |
| 7 | 教学研修 | 毎月2回、寮生の希望するテーマの勉強会 |
| 8 | 行脚 | 毎月13日の御廟参拝、安倍川慰霊行脚など |

◇行学寮の沿革◇

身延山大学行学寮の沿革をまとめたものは現存していない。数少ない資料より紐解けば、明治三十年代に身延山久遠寺祖師堂付近に、トタン葺きの鶯谷(学)寮という教場と寄宿舎があり、その後、西谷の地(現・智寂坊)に仮寄宿舎として移転したとある。昭和六年頃にはそれらが老朽化し改築を余儀なくされるが、名古屋市圓頓寺住職平賀宝榮上人(唯妙院日良上人)が、亡き令室「厚恵院妙恂日馨善女」の菩提を弔う為に約壹萬円を寄進され、これを基として東谷智寂坊の地に寄宿舎を新築した。時に昭和八年四月十二日、落慶式が挙行されたことより、当寮ではこの日を「創立記念日」としている。また、新築された寮名は『厚徳寮』と称し、これは平賀宝榮上人の亡令室、厚恵院妙恂日馨善女の院号によるものである。

太平洋戦争が激化すると、学生は学徒出陣として戦場に送り込まれることとなる。学生のいなくなった寮は軍事工場で働く人々が使用することとなり、これを契機に荒廃していった。しかし、その後の歴代の舎監、寮生の尽力により次第に復興していき、昭和三十年代には、久遠寺の大法要を担当、また街頭布教や行脚等を行うようになるのである。昭和四十八年八月には、老朽化した寮舎を再度新築し、その際に「学生は行学二道に励まなくてはならない」との理念より、寮名を『行学寮』と改称し、現在に至るのであった。

～お問い合わせ先～

〒409-2597 山梨県南巨摩郡身延町身延 3567

身延山大学 行学寮担当

TEL 0556-62-0107 FAX 0556-62-0727

※行学寮について、なんでもご質問・ご相談下さい。

【寮費】

初年度のみ、入寮費・学生保険料を頂いています。学生保険料は、入寮学年によって金額が異なります。
二年目以降は、管理費と食費のみになります。

| 内訳 | 金額 | 備考 |
|------|-----------|-------|
| 入寮費 | 60,000 円 | 初年度のみ |
| 学生保険 | 37,300 円 | 初年度のみ |
| 管理費 | 200,000 円 | |
| 食費 | 350,000 円 | 1日3食 |
| 合計 | 647,300 円 | 初年度 |

※学生保険は3年次編入の場合 20,740 円となります

その他にも、学校行事の参加・本山行事への出仕、茶話会等があります。

3月

卒業生報恩読誦会
卒業式

2月

春期休暇
寮生旅行
(二月上旬から三月下旬)

1月

寒修行托鉢行脚

12月

冬期休暇
(十二月下旬から一月上旬)

11月

水行開き

10月

御会式万灯行列出仕



【修得目標】



読経



声明



法要



法話



書道



- ①基本的な挨拶及び寮生活における所作 ②法要における所作、仏具の扱い方、法衣の着付け及び畳み方 ③総要品を無仮名本にて読誦 ④よく拝読される御妙判、要文等の暗誦 ⑤声明七曲 ⑥法話 ⑦書道(御首題、卒塔婆の書き方など) ⑧唱題行脚 ⑨水行 など

【目的】

日蓮聖人が晩年九カ年をお過ごしになられた棲神の地である身延山において、給仕・行学二道・社会貢献に精進し、僧侶としてあるべき姿や思いやりある振る舞いを身につけます。

お釈迦様のお説きになられた法華經に出会えたことに感謝し、法華經の弘通に御命を懸けられた日蓮聖人の御心を深く学びつつ、学生生活を送ります。行学寮は身延山大学で学び、日蓮宗の僧侶たるべき仏道修行及び学問に精進し、団体生活を通じて寮生相互の繋がりを強め、法器の養成と人格の向上を目的とします。

一から学んで

実践で活躍できる
力をつけます

4月

入寮式
新寮生歓迎会

5月

声明研修

開關会入山行列出仕

6月

施餓鬼大法要

7月

安倍川祭慰霊法要
及び慰霊行脚出仕

前期試験期間

夏期休暇

(八月上旬から九月下旬)

9月



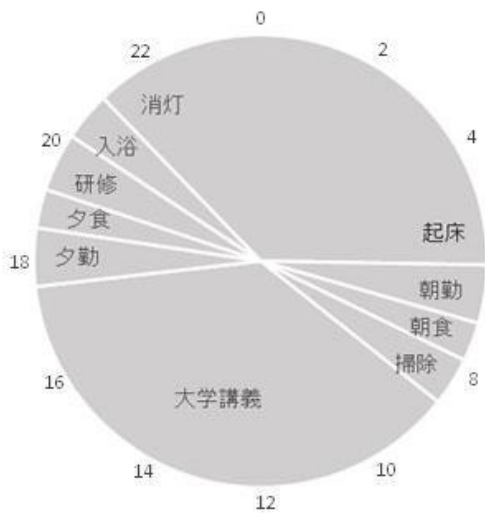
【入寮資格】

- 一、身延山大学へ入学する男子学生
- 【一・三年次編入学生の入寮も可能】
- 二、日蓮宗の僧侶を目指す学生
- 三、健康面で心配のない学生

【日常生活】

- 一、朝勤・夕勤は全員が出仕いたします。
- 二、外出・外泊は事前に寮監の許可が必要となります。
- 三、頭髪は五分刈り以下の丸刈りとし、月二回の散髪を行います。

【日課】



※夏期と冬期で朝勤開始時間が異なります。



一年以上の
在寮で僧道林が
免除されます。